

# かけはし

赤の2組  
～ダイナミックワールド号～



▶ Central Idea  
季節の移り変わりは、人々の生活に影響する

「秋のダイナミックワールド」において、赤の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

園庭や大学キャンパス、山梨森林公園「金川の森」へ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を見つけては、「秋があったよ!」「秋の匂いがする!」などと、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。集めた自然物(木の実や落ち葉)を使って、いろいろな遊びをはじめたり、1学期から楽しんできた遊びにも、“秋”の素材が加わったりして、一層盛り上がっています。

## ★ ドングリころころ ★

「金川の森」での親子園外探究活動を体験したことから始まった遊び



親子遠足で、「金川の森(ドングリの森)」を散策した子どもたち。その際、森のなかで遊んだドングリを使ったアクティビティを幼稚園でも続けて楽しんでいます。



金川の森やキャンパスで拾ったドングリ。それぞれを触ったり、転がしたりして遊んでいます。色や形を見比べ、よく転がるドングリを探したり、転がっていくドングリを追いかけていたりもしています。



「カブトムシの幼虫に似てる!」

ドングリ虫も発見! 絵本や紙芝居を通して、ドングリをベットにして育つ虫がいることを知った子どもたち。「チョコキリムシかな? ソウムシかな?」みんなで育てています。

## ★ 落ち葉温泉 ★

「金川の森」での親子園外探究活動を体験したことから始まった遊び



「甘い匂い♡ 綿あめみたい」

金川の森でカツラの葉っぱの甘い匂いを体験した子どもたち。落ち葉を見つると、どんな匂いがするか鼻に近づける姿が見られるようになりました。

「水の匂いがするよ」「お薬の匂いがするよ」「この匂い好き」「なんかくさい」と、会話も弾みます。「これは恐竜も見たかもしれないイチヨウだね」と植物の名前や特徴を伝え合う様子も見られます。



集めてきた落ち葉で、絵本にあった「落ち葉温泉」を再現。落ち葉が少なくなると園庭のサクラやクスノキ、イチヨウなど落ち葉を集めてきたり、お家から落ち葉を持ち寄りたりしています。

## ★ お店屋さん(アイス屋さん・ドーナツ屋さん) ★

砂場からはじまった遊び



1学期から砂場でお店屋さんごっこをしていた子どもたち。砂を固めてアイスやドーナツなどをつくっていました。保育室でも、ままごとの食べ物やブロックを商品に見立ててお店屋さんをする姿も…



そこで新聞紙や和紙などを使ってアイスやドーナツをつくることに。「ドングリも飾ったらいいんじゃない?」との意見も出されドーナツの上にドングリをトッピングしました。

「これはイチゴ味!」



最近はアイスとドングリを組み合わせたパフェなども登場しています。「いらっしやませ」「イチゴ味ください!」お店屋さんとお客さんになって言葉のやりとりも楽しそうにしています。

## ★ 病院ごっこ ★

ままごと遊びから生まれた遊び。



1学期から病院ごっこをしていた子どもたち。ぬいぐるみに聴診器をあてたり薬を飲ませたりして、お世話をする姿も…



絵本とカゴを組み合わせてPCに見立て診察したり、段ボール箱を救急車にして往診したり…。病院ごっこに必要なものも保育者と一緒につくっていききました。



「頭の痛いのが治る薬」「かゆいのが治る薬」「熱が治る薬など」症状に合わせた薬が出せるようになってきました。

## ★ ダンボールドラム・ドングリマラカス ★

自由工作に、秋の自然物が取り入れられたことから生まれた遊び。



散歩や園外探究活動の際、木の実や葉っぱを袋につめてお土産にしていた子どもたち。歩くたびに「シャカシャカ」音が! ドングリからもいい音が生まれることに気づきマラカスづくりに発展しました。



「どんな音が聞かせて!」

身近な素材とドングリを組み合わせると、組み合わせる素材やドングリの大きさ、数などによって音が変わることに気づき、好みの音になるように調整していました。



以前から、手拍子、足拍子、机ドラム、カスタネットなど、色々な音色でリズムを叩き遊んできた子どもたち。かくれんぼに使っていた段ボールを太鼓にして遊ぶ姿も見られます。